

事業所名 どれみGrow

支援プログラム

作成日 R7 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念		(法人) ~希望ある未来へ~ 地域の中での発達支援の中核的役割を担い、子どもの育ちのために全方位からのサポートを追求します。				(事業所) 成長・発展~自己表現や社会性を育て、次のステップへとつなぐ~	
支援方針		1. 一人ひとりの認知特性に合わせた支援 2. 自他を尊重したコミュニケーションのサポート 3. 可能な限り本人自らが意思決定できる環境作り					
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	・基本的な生活動作の練習や、体を健康的、衛生的に保つために必要な知識や、練習を個別やグループ活動、または専門的支援の中に取り入れています。					
	運動・感覚	・特別なイベントがない限りほぼ毎日、体幹トレーニングを行っています。内容はプランクやバードドックなどを、行っています。また、体幹トレーニングの次に行うチャレンジタイムの時間では、同じく体幹をしっかり使うことができる粗大運動をメインに行っています。感覚に配慮した支援も行っており、過敏さを示す利用児に対しては、刺激の少ないクールダウンのための部屋を用意してあります。					
	認知・行動	・何につまずいているのかを丁寧にアセスメントしていき、一人ひとりの困り感に合わせて対応します。 ・自動思考記録表を使って、出来事に対しての、自分の捉え方を柔軟にしたり、小集団活動では、自分と友だちとは感じ方が違うということを受け入れる練習を行っています。					
	言語 コミュニケーション	・ことばあそびゲームなどで楽しみながらことばを増やし、ことばの概念形成をしています。 ・活動の中にアサーショントレーニングを取り入れ、自分の意見を押しすぎず、我慢すぎない言い方の練習を行っています。 ※アサーショントレーニング…自分の気持ちも相手の気持ちも尊重した心を育むトレーニング					
	人間関係 社会性	・意見が分かれた時などに必要な交渉スキルが身につくよう、大人がモデルを示します。 ・落ち着いているときに、自分の行動を振り返る時間を作り、次に同じような状況になったときに、どう行動したら良いのかを大人と一緒に考えます。					
家族支援		・面談や送迎の際に保護者様からの相談に対して、どれみでできること、ご自宅でできることを提案し、情報交換を行いながら、それぞれに支援を行っていきます。また、面談や送迎時以外でも、適宜相談や話し合いの機会を設けさせていただきます。			移行支援		・当事業所は3～4、若しくは3～5年生のお子様を利用する事業所のため、保護者様や本人の意向のもと、同法人事業所内への移行、また、他事業所への移行のための情報提供やその方が必要な連携、調整を行っていきます。
地域支援・地域連携		・地域の中で健全に育っていくための社会のルールやマナーを身に着けていけるよう、土曜日や長期休みの利用の際はできるだけ地域社会の施設や公園を利用する機会を設けています			職員の質の向上		月に二回の社内研修と、外部研修や社外研修にも積極的に参加をすすめています。また各事業所ごとの、事例検討も行っています。
主な行事等		・クッキング、外部講師によるダンス、体操支援、旭川大学生との地域交流、外食体験、外出体験、その他季節に応じたの活動行事を設定しています。					